JASC2018年度第２回研究・定例会開催のお知らせ

JASC研究開発委員会

1. テーマ：

科学ジャーナリズムとサイエンスコミュニケーション　―メディアによる違いを考える―

２．開催の趣旨

研究開発委員会では発表・情報交換の場としてのJASC研究発表会を半期に一回程度開催します。JASC研究発表会は、広くケーススタディを扱うとともに、サイエンスコミュニケーションのフレームワークを明確化した研究の成果や知見を共有する場としています。

また、特定のテーマに基づく定例会を年2回ほど開催しています。第２回定例会のテーマは「科学ジャーナリズムとサイエンスコミュニケーション―メディアによる違いを考える―」で、新しい世界情勢の中で科学技術の社会実装化に伴うサイエンスコミュニケーションの例として科学技術ジャーナリズムの方々にその専門領域での取り組みとメディア選択を考えます。

今回は定例会と研究発表会を同時開催で本協会会員の研究発表３件を行います。

1. 開催日時・場所：

開催日：　2018年 9月9日（日）午後1時半から　筑波大学茗荷谷校舎　116講義室

会場案内：http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\_access.html

1. プログラム

受付（13：00～）：開場

開会（13:15～13:20）

開催趣旨説明・進行（13:20～13:30）

JASC研究開発委員会　高安礼士

研究発表（13:30～13:55）（発表15分　質疑応答5分）

発表１：権威に依らない科学ジャーナリズムメディアを目指して－IoT領域におけるサイエンスコミュニケーションの挑戦

発表者： 齊藤絵理子（早稲田大学 研究戦略センター 准教授）

フォーラム/ 対話（14:00～15:50）

　 科学ジャーナリストはサイエンス・コミュニケーションのひとつの領域の専門性の高い職能集団と考えられているが、その中ではメディアによっては必ずしも同様な方法論で行っているわけではなく、また人材育成にも違いが見られます。今回は、科学ジャーナリズムの中における様々なメディア選択の違いによるコミュニケーションポリシーの違いなどについて質問または対話形式で考えることとしました。

話題提供１：テーマ「活字メディアとサイエンスコミュニケーション」

発表者：佐藤　年緒（日本科学技術ジャーナリスト会議　会長／元JST 科学コミュニケーションセンター『サイエンスウィンドウ』編集長）

話題提供２：テーマ「放送メディアとサイエンスコミュニケーション」

発表者：室山　哲也（日本科学技術ジャーナリスト会議副会長／ 元ＮＨＫ解説主幹／ 大正大学客員教授／ 東京都市大学特別教授／ 科学ジャーナリスト／ プロデューサー）

＜ティーブレイク：休憩＆交流会＞（15:50～16:10）

研究発表（16:10～17:00）（発表15分　質疑応答5分）

発表２：科学フェスタとその運営を支える人材について-千葉市科学フェスタを例に-

発表者： 森井 映美子（トータルメディア開発研究所(元 千葉市科学館)）

発表３：「サイエンスコミュニケーションのためのストラテジーの考察」

発表者： 長嶋淳（伊勢原市立中沢中学校）

５．発表及び参加の応募

　JASCホームページからお申し込み下さい。

<https://www.sciencecommunication.jp/event/study/>

６．参加費

　会員は無料、非会員は有料（500円）、当日入会は無料とします。